

2 令和3年度 認知症施策の取り組みについて

(1) 活動目標

認知症高齢者が尊厳を保ちながら穏やかな生活を送ることができ、また、介護者が安心して生活できるよう、認知症の早期発見・早期対応の体制整備や家族等の負担を軽減できるケアの仕組みをつくる。当事者を含め、見守る体制づくりや相談窓口の充実を図る。

<活動計画> 認知症総合支援事業スケジュール（案）（別紙4）

- ア 認知症が疑われる方の相談受付後、直ちに認知症初期集中支援チームにつなぎ、初期支援を早期且つ集中的に実施していく。
- イ 小中学生や働く世代、企業にサポーター養成講座を開催し、地域ぐるみで見守り・支える町づくりを推進する。
- ウ （新）ステップアップ講座で生活支援に対応できるサポーターを養成し、認知症の方の生活を支援する。
- エ （新）本人ミーティングや認知症カフェ等を開催し、認知症の人や家族のニーズの把握、居場所づくりや介護負担の軽減、家族支援の強化、相談窓口の充実をはかる。
- オ （新）物忘れ相談会の実施による早期発見、早期対応、連絡会等で相談支援内容を評価するなど、相談体制を強化する。
- カ （新）徘徊高齢者発見のための模擬訓練の実施。
- キ 認知症の見守りの大切さを地域に広めるため、寸劇3パターン撮影し、CATVで放映する。認知症フォーラムの開催を継続し、町外に住む家族が気軽にオンライン参加できるよう周知を徹底し、認知症施策の推進を図る。

<令和3年度 宝達志水町認知症フォーラム>

日時：令和4年2月19日（土） 14：00～16：00

講師：石川県立高松病院 北村 立 院長

方法：Web会議サービス「ZOOM」を使用し、会場を分散して開催

場所：【メイン会場】宝達志水町役場 2階 大集会室

【リモート参加】希望者は自宅等からオンラインで参加